



今年度第 2 回目となる本部研修会が、平成27年 7 月28日、徳島グランヴィリオホテルにおいて開催されました。

平成25年住宅・土地統計調査による徳島県における空き家率は17.5%で、その内、防災、衛生、景観等、地域住民の生活環境に影響を及ぼすおそれのある、管理されていない空き家率が9.9%と全国 4 番目に高く増加傾向にあります。

また、社会経済情勢の変化等を背景として、日本の住宅市場はフローからストックへ大きな転換期を迎えています。住宅の新設着工戸数は減少し、今後、中古住宅市場の需要はますます増大していくと考えられます。

そのような中、福岡県宅建協会では、平成23年度より「住まいの健康診断」事業を実施しています。この事業は、専門家によるインスペクション（建物検査）を実施し、建物の状態を明らかにすることにより、売主・買主双方の不安を解消し、安心・安全な取引の実現を目指そうというもので、これまでに多数の物件がインスペクションを受けているそうです。

そこで、第一部では、公益社団法人福岡県宅地



建物取引業協会より北里厚会長を講師に迎え、中古住宅の流通活性化に向けた取り組みについてご講演いただきました。

第二部は、同和問題・人権全般をテーマとし、宅建業に関連する人権問題の実態と社会における企業等の役割についてなどのお話をいただきました。

さらに、第三部・第四部では、全国移住ナビへの物件情報入力について、そして、宅地建物取引業関連の補助金（助成金）制度について、それぞれわかりやすく説明していただきました。

長時間の研修となりましたが、受講者は最後まで熱心に聴講しており、充実した研修会となりました。

<研修テーマ・講師>

○福岡宅建協会が取り組んでいる住まいの健康診断について

公益社団法人福岡県宅地建物取引業協会
会長 北里 厚 氏

○同和問題・人権全般

徳島県立人権教育啓発推進センター 福田 邦孝 氏

○全国移住ナビへの物件情報入力について

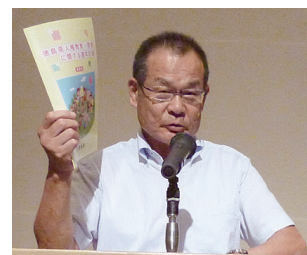
徳島県地方創生推進課 主任主事 福永 史織 氏

○宅地建物取引業関連の補助金（助成金）制度について

徳島県住宅課建築指導室
リーダー・係長 美野 英司 氏



(公社) 福岡県宅地建物取引業協会
会長 北里 厚 氏



徳島県立人権教育啓発推進センター
福田 邦孝 氏



徳島県地方創生推進課
主任主事 福永 史織 氏



徳島県住宅課建築指導室
リーダー・係長 美野 英司 氏